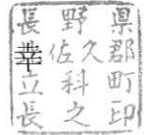




20立農建第222号
平成20年11月 6日

国土交通省道路局長 様

立科町長 小 宮 山 和



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け依頼のありました、今後の道路行政についての意見・提案を別紙により提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

長野県立科町

道路は、産業経済発展の根幹をなすものであり、住民生活の向上にとって最も重要な社会資本であり、地域を支える基盤でもあります。費用対効果だけで予算配分されては、地方は道路改良が進まずインフラ整備も出来ません、都市にだけに大きい道を作るだけでなく、地域の人々にとって利便性の向上と生活の豊かさなど大きな効果をもたらす道路整備事業の推進を願うものであります。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式② 長野県立科町	
○現状 立科町の町道は延長307kmと直線で東京を往復できる程の距離になります。国・県道とともに道路網を構成する幹線町道と集落内を通るその他町道に分類され、私たちの生活に最も密着しており社会活動や日常生活を支えています。町道の改良率は極めて低い状況にあり、国・県道においても未整備の箇所が多く何十年も進まないでいます、関東と関西の首都圏を行き交う大型車両の交通量が激増しており、沿線住民にとりましては、交通の危険、騒音等生活環境の悪化が著しく、事故がおきたら行政の責任問題となる状況にあります。	○課題 町道は私たちの社会活動や日常生活を支えています。当町もこれまで整備促進を図ってまいりましたが厳しい財政状況でもあり整備が進まない状況であり、安心、安全で観光面での活性化が望まれる当町においては、誘客効果の上でも国・県道の高速道路のインターへのアクセス道路を整備することが必要不可欠となっています。

今後の道路行政について意見・提案
②ー2地域の目指すべき将来像

様式③
長野県立科町

少子高齢化社会に向かって中山間地域での当町においては、若者が定住し地域を活性化させるための地域間連絡道路及び観光道路等、社会資本の整備が重要な課題とされます。道路整備の後れは著しく、町民の道路に求めるニーズは安全性や環境に対する配慮など多様化しており、加えて益々厳しい財政状況が予測され早急に道路整備を図る必要が生じています。

今後の道路行政について意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
観光と農業や商工業を中心とした経済活動の向上	○代表事例 国・県道では高速交通が周辺に出来る以前の道路であり、大型車の通行が増大した現在では幅員が狭く通行が容易でない箇所の整備。	○期待する効果や評価等 高速道路のインターへのアクセス道路の整備により、誘客、物流においても向上して経済活動が活発化する。	○その他
交通安全対策	小・中学生の通学路、生活道路での歩道の整備がとれている。	安全で円滑な通行が確保でき、住みやすい地域となる。	
高齢化社会に対応したバリアフリー化の推進	道路の段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの整備など高齢者や身体障害者にとって利用しやすい道路の整備。	高齢者、車椅子利用者、視覚障害者等が安心して外出できるようになる。	